



Subaru

男声合唱団 ニュース№530 '15. 11. 2

「なぜ？」などみっちりレッスン

10月30日

□ 10月30日（金）は「第5金曜日の定例（特別）レッスン、吉田亜矢子先生の声楽・合唱レッスン」の予定でしたが、先生が歌劇のリハーサルで都合が重なったため、通常レッスンに切り替えました。



岡邑さんの体操と本並先生のヴォイストレーニングの後、伊藤副指揮者の指揮で、「なぜ？」を、時間をとってたっぷり、つづいて「ねがい」のレッスンをし、休憩・

報告のあと、本並先生の指揮で合発曲の「春を待つ」と「道」をレッスンしました。ピアノは静さん、参加は全30名でした。

□ 「なぜ？」；

・一時間にわたって、一小節ごとの、詳しい緻密な指導がありました。全部はとても書ききれませんので、要点だけを記します。

・歌詞のイントネーションに合わせた歌い方とする。音が高いところは大きな声になってしまふが、不自然な話し言葉、イントネーションにならないように。

・単語の出だしの音は立てる、はっきり発音し、観客に何を言っているか伝わるようにする。

・軟口蓋を常に開け放しにして、響きの良い声にするよう常に注意する（軟口蓋とは、鼻からいにおいをスープとかいだ時、冷たい空気があたる口蓋の上部のこと）。

・一言ずつ区切ってうたうと不自然な箇所が多くある。話し言葉を大事に、意味が伝わるように。

・13～14小節「かたりあったのかー」の最後はクレッシェンドしない。クレッシェンドするのは、ピアノだけ（楽譜通り）。曲の出だしからここまで、すぐに感情移入をせず、ドキュメント映像を映すように比較的淡々と表現する。

・64小節「あなたたちの」；「ファファファアソラ」と歌っているひとが沢山います。楽譜通り「ファファファアソラ」と歌いましょう。

・千秋団長から、曲の出来た意味、背景をよく理解して表現できるようにしようと発言がありました。最後の「なぜ？」の問いかけ、抗議は、歌っている我々はどれほど理解し、また、どれほど共感して歌っているのでしょうか。どなたか、この歌を掘り下げた投稿をしていただけませんか。そういえば、2009年のIN京都祭典合発でこの歌を歌いましたが、この歌の初演指揮者である山本忠生審査員さんから、「ほんとうに理解して歌っているのか？（そうは聞こえてこない？）」との厳しい評がありました。（この時は入賞をのがしました）。やはり、もう一度座りなおしてこの曲を理解する必要があると思われます。

上町中学演奏曲をレッスンしました

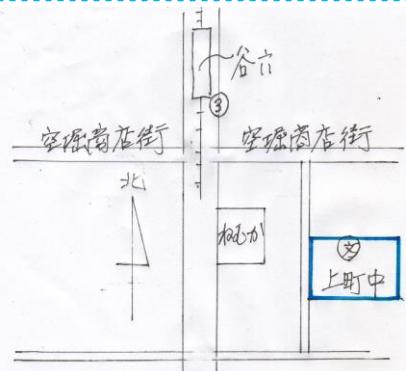
11月1日

□11月1日（日）の臨時レッスンは、富樫さんのヴォイストレーニングに始まり、11月10日に行われる「上町中学元気アップ事業」の出演曲10曲（後掲）全部と全員合唱の「故郷」をレッスンしました。指揮は本並先生と伊藤副指揮者、ピアノは森二三さんで、参加は全28名でした。



上町中学元気アップ事業・公演

- 11月10日(火) 15時 上町中学「2F 和室」に集合・発声
- 同中学「音楽室」にて昂公演 15時30分～約45分間
- 赤シャツ、黒ズボン、黒靴、9条バッジ
- 指揮 本並先生、伊藤副指揮者、ピアノ 森二三さん
- 司会 立川さん
- 淀川三十石舟唄、初心のうた、美しく碧きドナウ、春を待つ、ねがい、街を返せ、死んだ男の残したものは、SixPence、〈昂〉(アンコール)、故郷(全員)
- 楽譜持参:A4 黒表紙ファイルで各自作成のこと



上町中:空堀商店街一本目の道を右折すぐ

男性合同「スクラムひろげて」を練習

11月1日

□11月1日（日）午前中に、うた新聞まつり男性合同曲の「スクラムひろげて」のレッスンが淀川区民センターであり、小池さんの指揮のもと昂13名を含む全19名でレッスンしました。前日の同じレッスンでは30数名の参加だったので、まずまずの人数のステージになりそうです。元気いっぱいのうたごえでレッスンし、うたの最後は「ワッショイ」の掛け声で締めくくることになりました。その後、有志が十三駅西口での大阪府知事・大阪市長W選挙街頭宣伝に参加しました。

